

高坂町活性化計画

< 概要版 >

平成26年
(2014)
3月

1 計画策定の趣旨

- 高坂町には、佛通寺や高坂自然休養村があり、中山間地域の中では観光・交流資源に恵まれた地区となっていますが、スポット的な利用で来訪客の多くは町内を通過しています。
- また、過疎化・高齢化が進行するとともに、商業サービス施設が減少してきています。さらに、高坂小学校が平成25年3月で閉校しました。
- こうした状況を打開するには、現状に危機感を持ち、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっていると考えます。
- このため、三原市中山間地域活性化事業を活用し、高坂小学校の跡地利用、佛通寺、高坂自然休養村の活用などを含む「高坂町活性化計画」の策定に取り組みました。

高坂町の位置



2 計画策定の取り組み

- 高坂町内会では、各種団体の代表者などとともに「高坂町地域計画策定委員会」を設置し、「高坂町活性化計画」の策定に取り組みました。
- 計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、町内住民（16歳以上）、小学生（4～6年生）・中学生へのアンケート調査を実施するとともに、全住民を対象としたワークショップ（意見交換会）を開催しました。



計画策定体制

高坂町地域
計画策定委員会

- ・町内会役員
- ・各種団体の代表者
など

三原市の支援

計画策定の流れ

(1) 計画策定の進め方の検討

(2) アンケート調査

(3) ワークショップ
(意見交換会)

(4) 計画案の協議・とりまとめ

(5) 計画の決定

3 高坂町活性化計画

町の将来像

美しい景観の中で誰もが元気に暮らし、交流する町 たかさか

町づくりの基本方針

- 基本目標1 誰もが健康で快適に暮らせる町
- 基本目標2 多彩な資源を活用した産業が活発な町
- 基本目標3 多彩な人材が移住、応援する町

町づくりの基本計画

1 高齢者が安全安心に暮らせる町づくり

<高齢者の見守りの推進>

- 高齢者のみの世帯に対する近所での見守りの強化
- 一人暮らし高齢者を地区ごとで見守る体制づくり

<高齢者の生活支援の推進>

- 町内で協力した高齢者の交通手段の確保
- 外出困難な高齢者の買い物支援、移動販売車の運行など
- 高齢者に対する配食サービス（弁当）の検討

<高齢者の交流・生きがい活動の推進>

- 高齢者の交流の場となる常設サロンの設置、運営
- 元気な高齢者の収入に結びつく軽作業の確保、紹介



2 誰もが住みたくなる町づくり

<町を挙げての子育ての推進>

- 町に愛着と誇りを持つ子どもの育成
- 子どもの遊び場の確保、町内会イベントに子ども部門の設置
- 新生児の誕生に合わせて記念樹の贈呈、植樹による「たかさか町民の森」づくり
- 乳幼児のいる保護者のための子育てサロンの開設

<若者定住の促進>

- 若者が住みやすい環境づくり、地元事業所、農家などとの連携による就業の場づくり

<UJIターンの促進>

- UJIターンの促進に向けた事務局体制づくり、田舎暮らし（民泊）体験の提供
- 空き家の把握、三原市と連携した空き家のPR、移住希望者への空き家の斡旋など



3 地場産業が盛んな町づくり

<農地の保全と農業の振興>

- 町ぐるみで共同防護柵の設置
- 農業生産法人の設立や多様な担い手の確保
- 町内外の農業に関心のある若者の受け入れ
- ぶどう栽培などの特徴のある農業の推進
- 野菜，景観作物の栽培

<林地の保全と林業の振興>

- 間伐材の燃料化

<その他の産業の振興>

- 町内の人材を活用した産業おこし



4 多彩な資源を活用した観光・交流の活発な町づくり

<美しい景観づくりの推進>

- 「桜の町」，「紅葉の町」づくり，花木の植栽による美しい景観づくり

<町の観光・交流コースづくりの推進>

- 町内の観光・交流ポイントの把握と活用
- 佛通寺，高坂自然休養村及び町内の歴史資源（古墳）を含めた観光・交流コースづくり

<観光・交流資源の魅力化の推進>

- 仏通寺川の水質浄化，ホテルの里づくり，昇雲の滝の環境整備など
- 町全体で佛通寺行事の盛り上げ，高坂自然休養村の活用
- 佛通寺と高坂自然休養村とのネットワークの強化

<おもてなし体制の整備>

- 観光・交流マップづくり，案内標識の整備
- 観光ガイドの育成，町の情報発信，特産品販売などの体制の確立



5 住民の強い絆で支えられた町づくり

<住民意識の転換>

- 自らが町づくりに取り組む意識，住民の一体感の醸成

<多様な交流の推進>

- 子どもを中心とした交流の場づくり
- 高坂町史の編纂と学習会の開催による郷土愛の醸成
- 旧高坂小学校跡地を活用した町内交流拠点づくり

<町内行事の見直しと活性化>

- 負担の少ない町内行事の開催
- 多様なイベントの開催

<町のシンボルの作成，PRの推進>

- 町のイメージキャラクター，町の花，町の木を定め，住民の一体感の醸成と町外への高坂町のPR



4 計画の推進体制

町内会の活動目標

町内会の横のつながりを強化し、一体的に活動できる体制づくり

計画推進に向けて

① 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

② 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

<計画の推進体制づくり>

- 町内会の事務局機能の強化
- 町内会へのプロジェクトチームの設立による計画の具体化の推進

<段階的な取り組みの推進>

- 計画の優先順位付けを行い，段階的な取り組みの推進

<取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成>

- 住民，各種団体，NPO法人，企業などとの連携の強化
- 町出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用
- 講習会，研修会，先進地視察などの開催による人材の育成



③ 情報の受発信体制の確立

<町内向けの情報受発信>

- 「広報たかさか」の充実
- 有線放送による情報発信の充実
- 若者世帯に対するインターネットを活用した情報の受発信

<町外向けの情報発信>

- 高坂町を紹介するホームページの開設の検討
(観光・交流資源，イベント，空き家などの情報発信)



<問い合わせ先>

高坂町内会（高坂町地域計画策定委員会）